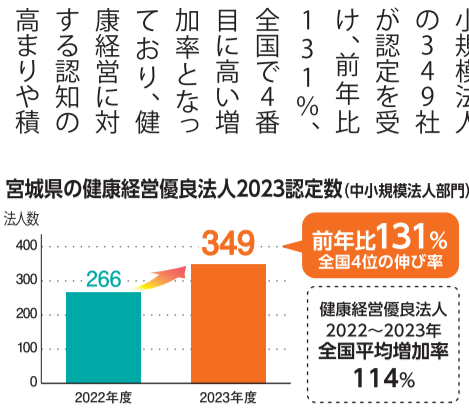


今すぐアクション！ 健康増進と企業価値向上へ



ふじ おのり さん
健康経営優良法人認定事務局
(経済産業省補助事業者 日本経済新聞社)



健康経営に取組む優良な法人を「見える化」

「健康経営優良法人認定制度」は大規模法人部門・中小規模法人部門の部門別に、健康経営に取り組む優良な法人を認定し「見える化」する制度で、認定法人が内外から評価される環境づくりを目指しています。23年3月現在、認定を申請する法人は全国で約1万7千社にのぼり、認定法人で働く従業員数は837万人で、その数は日本の被雇用者の約15%を占めています。宮城県でも中小規模法人の349社が認定を受け、前年比131%、全国で4番目に高い増加率となっており、健康経営に対する認知の高まりや積

健康経営の更なる発展を目指す 補助事業がスタート

経済産業省は2022年度より、民間の工夫を生かせる補助事業を活用し健康経営の更なる普及・拡大に向け取り組んでいます。ポータルサイト「ACTION!健康経営」での情報発信や、「健康経営優良法人認定制度」の申請窓口を担う、健康経営優良法人認定事務局の藤尾典篤さんに、昨今の取り組み状況や課題について伺いました。

社会動向を踏まえ 認定要件が改訂

これから始めようと考えている企業は、既に取組んでいる企業も、今後どのように健康経営を進めていけばよいのでしょうか。大きく変化している社会動向を踏まえ、23年度の健康経営優良法人認定制度においても、いくつかの認定要件が改訂されました。その一つが「仕事と育児・介護の両立支援」で、介護を担う従業員の把握や男性の育休の取得率など、従業員の適切な働き方を問う内容となっています。また、月経や更年期症状など、女性の健康課題に関する認知向上のため「女性特有の健康課題への対応」も評価要件を深掘りし、「生産性低下防

健康経営実践のメリット

労働者 従業員・就職希望者の安心・信頼
取引先 ビジネスパートナーからの信頼
消費者 商品・サービスに対する嗜好
地域・社会 自治体などからの評価
金融機関・投資家 金融機関・投資家からの信用評価

健康経営に取り組む企業

極的な姿勢がうかがえます。こうした状況について藤尾さんは、「少子高齢化が加速し、労働者の高齢化や採用市場の激化など、人材に対する企業課題の増加を背景に、健康経営への注目度が高まっています」と話します。

キーマンを決めることから取組む

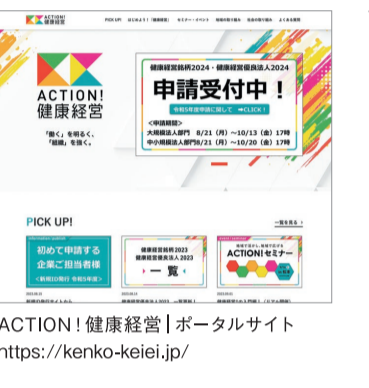
健康経営に取り組む企業が増える中、「社内で健康経営を進めているが、なかなか浸透しない」、「地域や他社の取り組み事例を知りたい」という声も増えています。藤尾さんは、「社内で取組むキーマンを決めて健康保険組合・協会けんぽなど保険者と連携し事例を聞き、できることから始めてほしい。従業員のヘルスリテラシーの蓄積や、健康状態の変化を観察・伝えることで、価値が実感できるようにします」と改善のヒントを話します。

ポータルサイト「ACTION!健康経営」では、取組みに役立つ情報やコンテンツなどを随時更新。健康経営優良法人の申請方法や期間、申請から認定までの流れなどが分かりやすく紹介されているほか、各地のセミナー情報などを紹介し普及に努めています。こうした情報や機会を活用し、健康経営の「今」を知り、一歩進んだ健康経営を目指しましょう。



時代に合わせた取り組みを実践 最新の健康経営にチャレンジ

「健康経営®」とは、従業員の健康を経営上の重要な資源と捉え、健康増進に取り組む経営方針のこと。県内でも実践する企業が増える中、社会動向の変化により新たな課題も生まれています。本紙面では課題解決のヒントとなる認定制度や、分かりやすく健康経営を学ぶ勉強会開催についてお伝えします。



止のための取組では、評価項目の一例として新たに花粉症および眼精疲労に対する具体的な支援が追加されました。藤尾さんは「改訂項目にも表れているように、人的資本を多角的に捉えさせ、また課題に向き合うことで生産性が高まり、企業価値向上につながると考えます」と展望を語ります。

食事や運動習慣などの健康維持・改善対策以外にも、労働環境の整備や従業員の働きがい向上など、多様な分野からのアプローチが求められています。

健康経営に取り組む企業が増える中、「社内で健康経営を進めているが、なかなか浸透しない」、「地域や他社の取り組み事例を知りたい」という声も増えています。藤尾さんは、「社内で取組むキーマンを決めて健康保険組合・協会けんぽなど保険者と連携し事例を聞き、できることから始めてほしい。従業員のヘルスリテラシーの蓄積や、健康状態の変化を観察・伝えることで、価値が実感できるようにします」と改善のヒントを話します。

健康経営に取り組む企業が増える中、「社内で健康経営を進めているが、なかなか浸透しない」、「地域や他社の取り組み事例を知りたい」という声も増えています。藤尾さんは、「社内で取組むキーマンを決めて健康保険組合・協会けんぽなど保険者と連携し事例を聞き、できることから始めてほしい。従業員のヘルスリテラシーの蓄積や、健康状態の変化を観察・伝えることで、価値が実感できるようにします」と改善のヒントを話します。

健康経営勉強会

会場開催 先着50名
参加費無料(要申し込み)

従業員の健康管理を経営的な視点で考え、実践する「健康経営」を分かりやすくご紹介する勉強会です。健康経営に興味のある企業の経営者や健康管理者の方々にご参加いただけます。

会場 河北新報社 本館ホール&セミナールーム

日時 10月24日(火) 13:00~16:00予定(開場12:30~)

対象 企業の経営者・健康管理者ほか健康経営に興味のある方

運営協力:ヘルスマネジメントコネクト健康経営研究所

お申し込み方法
QRもしくはWEBサイトの「申し込みフォーム」よりお申し込みください。
1社2名様まで参加可能となります。健康経営に関するご質問も承ります。

プログラム概要 参加内容によっては、会場をご移動いただけます。

〈第1部〉13:00~14:15 本館ホール

- 講演...「地域社会と共に栄える会社とは」 辻 一郎 教授 (東北大学名誉教授・同医学系研究科 公衆衛生学 客員教授)
- パネルディスカッション...「社員がいきいきと働くために」 高橋 耕平氏 (全国健康保険協会宮城支部(協会けんぽ)) 佐藤 利幸氏 (ヘルスマネジメントコネクト健康経営研究所) 北村 達也氏 (株式会社復建技術コンサルタント)

〈第2部〉14:30~16:00 本館ホール・セミナールーム

事前予約制(定員16名) 健康経営ゲーム

健康経営ゲームとは、会社運営を擬似的に体験しながら、個人の健康状態が会社の業績に与える影響を実感できる体験型カードゲームです。

健康経営ゲームで期待できる効果

- 健康が業績に与える影響を、論理的に理解できる
- 健康は「企業の理解とサポート」が必須だと実感できる
- コミュニケーションと対話が生まれる

- 協賛企業ブース&PRタイム 健康みやぎサポーターズの協賛企業各社がブース出展。健康経営に役立つ情報をご提供します。
- 脳傾向診断テスト 設問に回答すると、その場で結果・分析・説明シートを確認でき、脳の思考タイプや感情のコントロール状態などが数値で分かります。
- 交流会 勉強会への参加者、講師、協賛社による交流会を開催。健康経営に関する情報交換や企業間マッチングなどの機会としてご利用ください。

健サポフレンズ募集!

職場での健康づくり(健康経営)に
① 取り組んでいる ② 取り組む予定がある ③ 取り組みたいと考えている
以上のいずれかに該当する、宮城県内に事業所を有する企業・団体であること。

- 「職場での健康づくり勉強会」などに、優先的に参加可能。
- 「職場での健康づくり情報紙」などを職場まで、優先送付。
- 「健康みやぎサポーターズ」協賛社による、サービス提供・商品サンプリング・ミニセミナーなど。
- 健康経営・職場での健康づくりに関する、情報の提供・質問への回答・取り組み支援など。
- 登録各社からの情報や取り組み事例を、河北新報特集紙面および特設WEBサイトで紹介。

その他、健康づくりに関するさまざまなメリットを提供する、双方向の会員組織を目指します。

登録料・会費 無料

2023年9月時点 登録110社

健康サポフレンズ 新規登録は WEBサイトから

健康サポフレンズ 検索

https://www.kahoku.co.jp/ad/health-supply/entry/

登録企業増加中!

「健サポフレンズ」登録企業・団体の健康経営取り組み状況

取り組み開始から経年が、浅い企業・団体が半数以上

いつ頃から実施していますか?

- 1年未満 7%
- 1~3年 14%
- 3~5年 79%
- 5年以上 27%

既に取り組んでいる 46%
これから取り組む 27%
将来的に取り組む 18%



健康みやぎサポーターズ 2023年度スケジュール

2023年

- 6月30日...紙面特集Vol.17 掲載
- 9月22日...紙面特集Vol.18 掲載
- 10月24日...健康経営勉強会
- 11月...紙面特集Vol.19 掲載

2024年

- 1月...健康づくり情報紙発行
- 2月...紙面特集Vol.20 掲載

お問い合わせ 健康みやぎサポーターズ事務局(河北新報社営業局営業部) Tel.022-211-1318 10:00~17:00(平日のみ) 企画・制作/河北新報社営業局